

No.119

2022.11

北いぶき



9月中旬から10月上旬にかけ稲刈りの最盛期を迎えました
植田辰徳さん圃場にて（秩父別地区・北新）

Contents

●令和4年産米 収穫・集荷状況	2	●職員動態	10
●第3回農事組合長会議	3	●JAグループ通信	11
●第4回現地研修会 水稻適期刈取判定会	3	●青年部秩父別支部 食育事業	12
●農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ	4	●第19回妹背牛年金友の会 パークゴルフ大会	12
●令和4年産そば 集荷	5	●元気村・夢の農村塾 20周年記念祝賀会・農村塾の未来を考えるワークショップ	13
●農産物集荷作業安全大会	5	●女性部秩父別支部フレッシュミズ こども園へ寄贈	13
●絆 ～THE YOUTH FACE～	6	●女性部沼田支部 部員研修	14
●JA北いぶき女性部 加入推進イベント 音楽演奏会	7	●元気村・夢の農村塾 農業体験を受入	14
●JA女性部北ブロック 支部長交流会	7	●沼田支所寿会 一夜研修	14
●コープさっぽろ「お米探検隊」稲刈りツアー	8	●新採用職員紹介	15
●沼田小学校メロン体験学習 収穫体験	9	●営業時間の変更のお知らせ	15
●理事会報告	9・10	●PHOTOだより	16

ホームページ <http://www.ja-kitaibuki.or.jp/>

JA北いぶき

検索



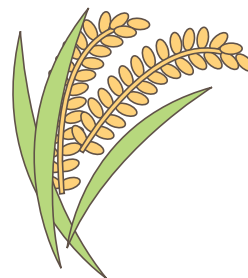
ホームページでも情報を
発信しています
ぜひご覧ください！



安永敦也さん圃場にて
(妹背牛地区・妹背牛中央)



青木和幸さん圃場にて（沼田地区・沼田東部東）



令和四年産米 収穫・集荷状況

J A 北いぶき管内では、九月七日から八日にかけて行われた水稻適期刈取判定会をきっかけに、北いぶき管内では例年より五日ほど早く水稻の刈り取り収穫作業が始まりました。

収穫初めには雨の影響もありましたが、その後は好天に恵まれ順調に作業は進み、十月上旬には各地区ではほぼ終了しました。

併せて、九月十四日に妹背牛地区、十九日に秩父別、二十日に沼田地区にてカントリー施設の作業が始まり、生産者の皆さんより集荷した米を品種や区分ごとに計量し、タンパク値等の基準に従い調



製・出荷を行いました。荷受けについては各地区の出荷状況に応じ、妹背牛地区は十月二十日、秩父別地区は十月三十一日、沼田地区は十一月四日で終了しました。

本年度の降水量は平年並みで、日照時間も多く気温も高く推移し、生育は順調に進みました。また、品質については乳白粒や着色粒等が見受けられたものの、昨年続き低タンパク質米の出荷割合が高い年となりました。

作況概況において北空知は「一〇六」の「良」と発表され、四年連続で平年作以上の年となりました。



第三回 農事組合長会議

九月五日、J A北いぶき本所にて第三回農事組合長会議を開催しました。黒田組合長挨拶では、各農事組合長へそば・水稲の収穫・秋まき小麦の播種が始まる秋の農繁期に集まって頂いたことへの感謝を伝え、併せて農作業中の事故について注意頂くようお願いしました。

普及センターより、刈り取り間近となった水稲について、これまでの気象経過と共に本年度の生育状況を説明。また、注意事項として、刈取適期の判定方法について、刈遅れによる品質低下のおそれについて説明がありました。



秩父別地区

J Aより、うるち米をめぐる情勢として全国での古米の取扱動向や令和四年産米の概算金、麦の集荷調製状況、令和五年水稲種子の取りまとめ等について説明並びにお願いをさせて頂きました。



妹背牛地区



沼田地区

第四回現地研修会 水稲適期刈取判定会

九月七日に沼田地区・妹背牛地区、八日に秩父別地区にて第四回現地研修会・水稲刈取適期判定会を開催しました。

各生産者よりサンプルとなる稲を持参頂き、J Aにて脱穀・籾摺り・選別・水分測定、品質判定機



秩父別地区



沼田地区

並びに目視による判定を行い、適切な刈取日を算出。各地区でのばらつきがあるものの平均として、本年は九月十日から十七日の期間で刈取適期となる判定結果となりました。

講習会では、普及センターより収穫後の適正な乾燥・調製、来年度の乾田化へ向けた圃場管理について解説があり、J Aからは、米穀乾燥調製貯蔵施設出荷要領を中心に異物混入ゼロ対策、安心・安全・信頼確保対策や乾・籾保管上の注意などを案内させて頂きました。



妹背牛地区

農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ



北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 小野寺 俊幸

昭和二十二年十一月十九日に農業協同組合法（農協法）が公布され今年で七十五年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況乗り越え、組合員の皆様の営農

と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

一昨年より、新型コロナウイルスという今まで経験したことのないウイルスが世界的に感染拡大し、社会・経済にも大きな影響を与えておりますが、経済活動は徐々に日常を取り戻しつつあります。

しかしながら、農業分野においては長引くコロナ禍の影響による農畜産物の消費の低迷、飼料・肥料等生産資材の高騰により農業・JAを取り巻く環境は厳しさを増しております。

思い返すと世界規模での新型コロナウイルス感染拡大に伴い、マスクの需要が急激に増加しましたが、その大部分を海外からの輸入に頼っていたことから、国内は深刻なマスク不足に陥ってしまいました。

コロナ禍において、いくつかの国が食料の輸出を制限しまし

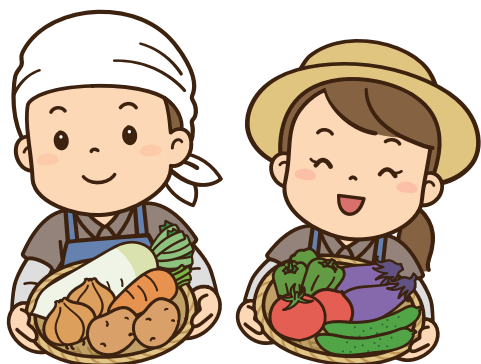
た。幸いにも、それらの国から日本は食料を多く輸入していなかったため、今のところ大きな影響には至っておりませんが、何らかの問題が発生したとき、私たちの食料はどうなってしまうのか。私たちにとって大きな教訓となりました。

このことから、国民が必要とし消費する食料はできるだけその国で生産する「国消国産」という考え方は、消費者に知っていただきたい大切なテーマであり、一九四五年に国連食糧農業機関（FAO）が発足した日、さらに一九八一年に国連が「世界食料デー」に定めた日である十月十六日を、「国消国産の日」として制定し、令和三年に日本記念日協会に登録しました。

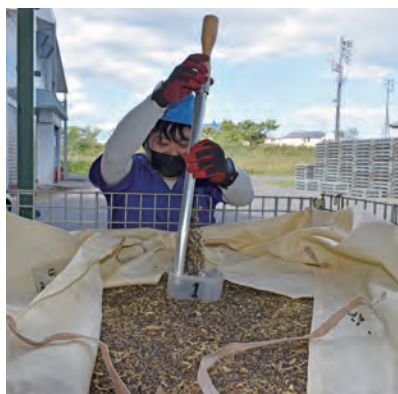
今こそ、この国消国産の周知、さらにはJA北海道大会で確認された五〇万人サポーターづくりを推進するべく、JAグループ北海道が一体となって「アグリアク

ション北海道」と題した統一した取り組みをしっかりと実践することが必要となります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。



令和四年産 そば集荷



そばの水分サンプルを採取するJA職員

八月二十九日より、沼田農産物調製施設にて令和四年産そばの集荷を開始しました。九月上旬は好天が続き、収穫されたそばが生産者の方々によって次々と運ばれ、施設での集荷及び受入を実施。収穫・集荷作業については九月中旬頃まで行われました。

品質については、とても良く全量一等で調製でき、実需からも、風味などについて高評価を頂いております。収量についても、収穫期の天候にも恵まれ黒化率も高い状態で収穫出来たこともあり、反収については平均一・九俵となりました。



集荷作業に向けた安全宣言をする永井係長



挨拶をする黒田組合長

農産物集荷作業安全大会

九月十二日、令和四年産米集荷に係る各地区でのCE施設操業に向けて、農産物集荷作業安全大会を開催しました。

黒田組合長からの訓示の後、管理部長より近郊での労働災害について発生状況等を解説。安全業務に向けて、職員一同で遵守事項の確認、安全管理マニュアルの確認を行い、職員代表より無事故に向けた安全宣言を行いました。



絆

～ THE YOUTH FACE ～



畑地 建さん

沼田地区・沼田東部東

作付品目
水稻、麦、そば、ブロッコリー

職業として農業を選択した理由
農業に従事しようと決めたのは大学の時です。小さい頃から家の仕事の手伝いはしていたものの当時は「大人になったら農家をやる！」なんて気持ちはありませんでした。アルバイトでリンゴやミニトマト、ニンニクなどの収穫をしていくうちに農業の面白さを実感し、卒業後は農業に従事しようと思いました。一年目の今年は知識の習得から機械の操作など忙しい日々が続きましたがとてもやりがいを感じています。



早朝、慣れた手つきでブロッコリーを収穫する畑地さん

農業を行っていく上での想い
現時点では夢というものは正直ありません。というのでも知識や経験など自分に足りないものが多くすぎて『何かに向かって』というものが見えていないからです。ですが、小さいことからコツコツと手の届く範囲で目標を立てて早く一人前になり、自分なりの夢というものを持ちたいです。

青年部活動について

青年部への入部が今年の途中からということもあり活動にはほぼ参加できていません。しかし、夜高あんどん祭りを通じて先輩方と仲良くなれました。右も左もわからない自分に対し優しく接してくださり、とても頼もしいです。プライベートではサウナや飲み会などとても充実しています。今以上に交流の場を増やしもっともっと活気あふれる青年部にしていきたいと思っています。

共に農業を行う家族について

感謝の気持ちです。両親は仕事で忙しいにも関わらず疲れたそぶりを見せぬままここまで育ててくれました。「今の自分が同じことを出来るのだろうか」と考えるとおそらくは

無理だろうと思います。そういった意味でも早く仕事を覚えて少しずつ恩返しをしていきたいです。

農協職員との交流

家の仕事と並行して米穀集荷調整施設で青年部の先輩方や農協職員と日々仕事を共にしています。家の仕事とは違うこともあり、毎日が新しいことの発見でとても楽しいです。

農協職員と交流できる場所の一つでもあるのでここでの繋がりのいうものを大切にしていきたいです。来年、再来年になった時、今の自分がどこまで成長しているのかはわかりませんが何事にも全力で取り組んでいきたいと思っています。



沼田町米施設にて働く畑地さん



開催の挨拶をする戸村部長

八月二十七日、JA北いぶき女性部（戸村千代美部長）は、三年に一度開催している部員の加入推進イベントとして、沼田町民会館にて音楽演奏会を開催しました。本イベントは、女性部未加入の方々へ女性部活動をPRする目的と部員の皆様へ女性部の魅力を再確認して頂く目的で企画しており、四度目のイベント開催となりました。会場では、女性部の活動内容について紹介したパンフレットを配布し、女性部の魅力を発信しました。

JA北いぶき女性部 加入推進イベント 音楽演奏会



演奏会では、沼田中学校吹奏楽部が二曲、秩父別中学校吹奏楽部が六曲メドレーを披露。その後、アンサンブルグループ「奏楽（そら）」がオペラ四曲を含む全十四曲を演奏しました。「奏楽」は、演奏の合間に楽器の紹介や演奏したクラシック楽曲の背景など解説し、観客に音楽への親しみを感じさせる演奏会となりました。



一人一つの大きなカボチャを使ったランタン作り

十月十九日、JA女性部北ブロック支部長交流会がJA北いぶき本所にて開催されました。JA女性部北ブロックは、JA北いぶき女性部（戸村千代美部長）とJAきたそらち女性部で構成され、毎年支部長が集まって交流会を開催しています。

JA女性部 北ブロック支部長交流会



ナイフを使って顔のパーツを切り出します

今回は両女性部より十一名が参加し、秩父別町の吉澤真由美さん（穂栄）を講師に招き、おもちゃカボチャのランタン作りを行いました。カボチャに顔の絵を描き、

その後、新米「ゆめぴりか」と「ふっくりんこ」を持ち寄り試食会を行いました。懇親会では、ゲームなどで盛り上がり、同年代の女性部員として会話も弾み、大変有意義な交流会となりました。



コープさつぽろ「お米探検隊」 稲刈りツアー



刈り取った稲を数株でまとめて束ねます

九月十七日、妹背牛支所ふれあい農園にて、コープさつぽろ「お米探検隊」稲刈りツアーが開催され、五月の田植えツアーに参加した消費者十九名が再び妹背牛町を訪れました。

手作業での稲の刈り取りは、柔らかい足場や初めて持ったという方も多かった鎌の使い方に苦戦しながらも青年部の協力などもあり、刈り取った後の落穂までき



はさがけを楽しむ参加者

れいに拾い集めることができました。

その他も盛り沢山で、刈り取った稲の「はさがけ」や、機械を用いて脱穀から精米までの流れを体験・見学し、お米が稲から食べられるようになるまでの工程を学びました。

また、五月に自分たちで植えていた馬鈴薯のほか、さつまいもやスイートコーンをお土産として収穫しました。たくさん体を動かした後の昼食では新米「なつぽし」のおにぎりを味わいました。一足早い新米の味に皆さん笑顔を浮かべていました。



大きな馬鈴薯やさつまいもがごろごろと採れました



乾燥後の稲を脱穀機にかけます





収穫したてのメロンを糖度計で測定

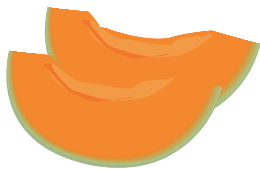


児童に収穫したメロンのつるが綺麗に見えるカットを教える辻さん

沼田小学校メロン体験学習 収穫体験

九月十四日、沼田町「農天氣の会（藤村富士子代表）」は、辻則行さん（沼田東部西）の圃場にて沼田小学校四年生児童とメロンの収穫体験を行いました。児童たちが六月に定植、八月に皿敷きを行い、大きく実ったメロンを一人二玉ずつ収穫。獲りたい個体を自分たちで選ぶと、はさみを使って慎重に収穫しました。秤で重さを量ると、二kg～三kgのメロンを収穫することができました。

その後は、学校で糖度計を使った検査を行い、収穫したメロンがJA北いぶきメロン生産組合の出荷規格である糖度十四度以上になっていることを実際に確認。また、収穫したばかりのメロンと追熟させ食べ頃を迎えたメロンを実際に食べ比べました。



理事会報告

第七回理事会（九月二日付）

【報告事項】

管理本部

- 当面における農協行事予定について
- 組合員の加入・脱退等の申し出について
- 固定資産の取得・処分・主要修繕費の支出について
- 余裕金の運用計画額について
- 疑わしい取引の届出状況について
- コンプライアンス定期報告について
- 米集荷期間中における新型コロナウイルス感染症への対応について
- 職員の採用について
- 金融共済事業本部
- 長期資金の貸し出し状況について
- 令和四年度特定組合員の中間面談報告について
- 営農販売事業本部
- うるち米をめぐる情勢について
- 令和四年産小麦の集荷状況について
- 花卉・蔬菜の取扱実績について
- 購買施設事業本部
- 購買施設事業実績検討表（七月末）について

【決議事項】

議案第一号

令和四年度上半期決算の承認について

議案第二号

令和四年度下期修正計画の設定について

議案第三号

職員就業規則の一部改正について

議案第四号

ヘルプライン運営要領の制定、並びにコンプライアンス・マニュアル、および不祥事対応要領の一部改正について

議案第五号

規程類管理規程の一部改正について

議案第六号

令和四年産米の出荷概算金の支払いについて

議案第七号

農業倉庫屋根の雪害に伴う修繕について

議案第八号

信用限度超過者に対する貸し付けの承認について

【協議事項】

○購買施設事業実績検討表（七月末）について

第八回理事会（九月三十日付）

【報告事項】

管理本部

○当面における農協行事予定について

○組合員の加入・脱退等の申し出について

○固定資産の取得・処分・主要修繕費の支出について

○経営定期点検の実施結果について

○準職員の動向について

○新型コロナウイルス感染症への対応について

金融共済事業本部

○長期資金の貸し出し状況について

営農販売事業本部

○令和四年産米施設別入庫状況について

○令和四年産花卉・蔬菜の取組及び販売状況について

購買施設事業本部

○購買施設事業実績検討表（八月末）について

【決議事項】

議案第一号

令和四年度上半期決算に係る監事監査報告書について

議案第二号

組合員規程の一部改正について

議案第三号

育児および介護休業規程の一部改正について

議案第四号

固定資産の取得について

議案第五号

固定資産の取得について

議案第六号

令和四年度寒冷地手当・燃料手当の支給について

議案第七号

出資金の譲渡、並びに減口について

議案第八号

理事に対する利益相反取引の承認について

議案第九号

理事に対する利益相反取引の承認について

【協議事項】

○役員選任推薦会議からの付帯意見に対する回答について

○役員研修の実施について

第九回理事会（十月二十七日付）

【報告事項】

○空知管内組合長会議からの報告事項について

管理本部

○当面における農協行事予定について

○組合員の加入・脱退等の申し出について

○固定資産の取得・処分・主要修繕費の支出について

○農協職員に係る出資増口について

○その他

金融共済事業本部

○長期資金の貸出し状況について

○令和四年度JA共済コンプライアンス点検結果および改善方針の概要について

○クミカン精算に係る資金対応について

○「営農貯金」並びに「災害貯金」の推進日程について

○婦人部貯金の受付について

営農販売事業本部

○うるち米をめぐる情勢について

○令和四年産米 施設別入庫状況について

○令和四年産花卉・蔬菜の取組み状況について

購買施設事業本部

○購買施設事業実績検討表（九月末）について

【決議事項】

議案第一号

役員報酬審議会委員の委嘱について

議案第二号

「自動車運行管理規程」の一部

改正について

議案第三号

「個人情報取扱規程」の一部改正について

議案第四号

信用限度超過者に対する貸し付けの承認について

【協議事項】

○農事組合別組合員・女性部との懇談会開催日程（案）について

○JA事業利用に係る准組合員満足度調査の実施について

職員動態

□採用（九月八日付）

鎌田 悠

妹背牛支所貯金共済課共済係

□異動 準職員（十月一日付）

宇野 沙知

金融事業部貯金課貯金係（妹背牛支所貯金共済課貯金係）

十亀美保子

妹背牛支所貯金共済課貯金係（金融事業部貯金課貯金係）

□採用 準職員（十月一日付）

篠子 理理

沼田支所燃料課燃料係



JA グループ通信



各団体の詳しい取り組み内容については、WEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



◆HTB まつりにて JA カレーガチャを開催！

9月30日～10月2日の3日間、さっぽろ創世スクエアにてHTBまつり2022が開催され、JAグループ北海道では、米の消費拡大を目的にブースを出展しました。

ブースでは「ガチャ」を活用し、1回1000円で道内JAのレトルトカレーやOnちゃんグッズが当たるイベントを行い、590回を超える参加をいただきました。



期間中は、「国消国産」に関するSNS投稿をした方が数量限定で挑戦できる無料ガチャ企画も行いました。ブースには、お笑い芸人錦鯉のお二人やイチモニ農園で米づくりに挑戦した田口彩夏アナウンサーも訪れ、大いに盛り上がりました。(本イベントの売上の一部は、子ども食堂に寄付いたします)

今後も食と農への理解を促し、サポーターづくりを進めるとともに、国消国産を広く周知するための情報発信を強化して参ります。

JA北海道信連



◆親子で学ぼう!あぐりキッチン教室

JAバンク北海道の食育活動として、JA・農協観光・上川生産連と連携して、親子で農産物の収穫・調理を体験するバスツアー企画を10月から12月に実施します。

稲刈りをして新米でおいごりを作るなど、農業体験が初めての親子でも楽しめるプランを用意しています。

食への関心を高める企画を通じて、北海道農業のサポーターづくりを進めて参ります。



稲刈りの様子

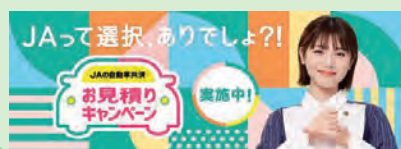
JA共済連北海道



◆自動車共済お見積りキャンペーンを実施

JA共済では、『自動車共済お見積りキャンペーン』を実施しています。キャンペーンWebサイトへご応募いただいた方の中から、抽選で13,500名様にお掃除ロボットなど素敵な賞品を用意しています。

キャンペーンは令和5年3月31日(金)迄です。この機会にJA共済のホームページへのアクセスお待ちしております！



ホクレン



◆UHB テレビにてミニ番組スタート

ホクレンとUHBが共同制作したミニTV番組「それはまるでトリンドルな1日でした。」が9月6日よりスタートしました。放送は、毎週火曜日・午後9時54分からです。

農業現場に訪れたトリンドル玲奈さんが、農畜産物の調理・食事などを通じて、北海道農業の美しさや食材の魅力をお届けする新番組です。UHBの公式Youtubeチャンネルで配信中の長尺編と併せて、ぜひご視聴ください。



それはまるでトリンドルな1日でした。

JA北海道厚生連



◆看護師採用HPを開設

このたび、看護師採用専門ホームページを開設しました。それぞれの事業所を紹介しながら、地域医療を共に支えてくれる仲間を募集しています。

下記QRコードよりサイト閲覧が可能ですので、より多くの方々にアクセスをお待ちしています。

また、Twitter(@kouseihosp_ns)でも最新情報を発信していますので、チェックしてみてください。





収穫したカボチャにシールやペンで顔を描いたり、デコレーションを施しました



カボチャの収穫について、児童たちへ説明する土井さん



収穫後には、青年部によるカボチャに関するクイズが出題されました

八月二十六日に丁A北いぶき青年部秩父別支部（楠本学支部長）は、盟友である土井陽平さん（秩父別地区・日の出）の圃場にて秩父別小学校一年生十六名を対象に食育を目的としたおもちゃカボチャ収穫体験を開催しました。

児童たちは、土井さんから収穫時の手順の説明を受けた後、変わった形や色のおもちゃカボチャを前に興味を示しながら約五〇〇個以上のカボチャを収穫。その後は自分たちで収穫した一部のカボチャに、マジックペンやシールでデコレーションし、オリジナルのカボチャを作成しました。今回の食育事業で収穫したカボチャの一部は、秩父別小学校へ寄贈しました。

青年部秩父別支部

食育事業



第十九回妹背牛年金友の会

パークゴルフ大会

妹背牛年金友の会（山下豊会長）は八月二十六日、妹背牛町うらら公園パークゴルフ場にて第十九回妹背牛年金友の会パークゴルフ大会を開催し、三九名の会員の方々が参加されました。

開会式では、山下会長から「パークゴルフを通じて親睦を図りながら、楽しい時間を過ごして頂きたい」と挨拶。

来賓として丁A中易専務から日頃のお礼と大会に向けての激励の挨拶が述べられました。

競技は、感染症などに十分注意をしながらのプレーでしたが、参加した会員は皆張り切ってプレーを楽しんでいました。

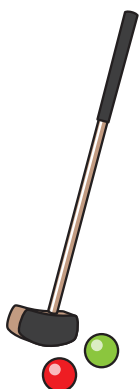
なお、男女の優勝者は次の通り。

・男性の部優勝

坂口 勝明さん

・女性の部優勝

神藤枝美子さん





ブレインストーミングと呼ばれる方式で参加者それぞれが付箋に意見を書き出し、各班ごとに発表しました



20周年のお祝いを述べるJA黒田組合長

元気村・夢の農村塾 二〇周年記念祝賀会・農村塾の 未来を考えるワークショップ

八月三十日、元気村・夢の農村塾（村上はるみ塾長）は、深川市アグリ工房まあぶにて二〇周年記念式典並びに、記念事業として「農村塾の未来を考えるワークショップ」を開催しました。会員、OB、関係機関より三八名が参加しこれまでの活動を振り返り、今後どのように農業体験の価値を多くの人に伝えていくか、様々な視点から意見を出し合いました。

元気村・夢の農村塾は、修学旅行生等を対象に農業体験を受け入れる北空知の農家団体として設立。現在二三戸（北いぶき管内十三戸）の農家が、子ども達が農業とふれあい、農業に興味を持つ機会を作るため農家民泊等を実施し、併せて食育の推進に取り組んでいます。



女性部秩父別支部フレッシュミズ こども園へ寄贈

九月六日、女性部秩父別支部フレッシュミズ（植田麻沙子会長）は、町内のこども園「くるみ」へ箱ティッシュの寄贈をしました。

今年は箱ティッシュを段ボールケースで寄贈しました。コロナ禍以前は直接園児達へ手渡していましたが、今年も直接の手渡しは自粛。早く園児達の顔を見て渡せるようになることを願い、みんなが健康で元気に過ごせるようにと思いを込めて園長先生へお渡しさせて頂きました。



5～6種類の多肉植物を使って寄せ植え作品を作りました

十月二十一日、女性部沼田支部（加藤早苗支部長）は、まちなかほつとタウンにて「多肉植物寄せ植え教室」を開催し、部員二二名が参加しました。

花パレット（深川市）の青木さん・栄さんの二名を講師に招き、沢山の多肉植物の中から、中心の軸となるものを選び、敷き詰めていきます。

さらに「カラーサンド」と呼ばれる色付きの砂を使用してカラフルに仕上げました。初めての寄せ植えを楽しみながらとても可愛らしい作品に、皆さん大変満足した様子でした。

女性部沼田支部 部員研修



積雪前にビニールハウスの骨組みを外すお手伝いを行いました

元気村・夢の農村塾 農業体験を受入

十月二十七日、元気村・夢の農村塾（村上はるみ塾長）は、京都府からの高校生の農業体験を受入し、北空知全体に七八名、沼田町・妹背牛町には合わせて三五名の生徒が、一班四名ほどで各農家宅を訪れ農業体験を行いました。

植木和美さん・千鶴さん（沼田地区・沼田東部西）宅を訪れた生徒たちは、農繁期を終えたビニールハウス等の作業場の片付け作業を手伝っていました。作業の間には、生徒たちに獲れたばかりの新米を昼食として振舞っていました。

千鶴さんは、時間の限られた農業体験を受け入れる際、「作業着を着てもらって、形から農業に入ってもらうことで、よりやる気になってもらえる」として、一人ひとりにカラフルなつなぎから、長靴等一式を貸出して、参加者に楽しんでもらうことが重要だと語っていました。



多世代で楽しめるボッチャは、パラリンピックの競技にも選ばれています

十一月一日、沼田支所寿会（沼本幸子会長）は、一夜研修を沼田町ほろしん温泉ほたる館にて開催し、会員十二名が参加しました。

今回の研修では一般社団法人N-linkの森田弘美氏をお迎えし、レクリエーションでボッチャ体験を行いました。

ボッチャは、白い目標球に、自分のチームのボールを近づけて得点を競うもので、チームで歓声を上げながら楽しく体を動かすことができました。その後、懇親会ではビンゴゲームなどをして大変有意義な研修となりました。

沼田支所寿会 一夜研修

新採用職員紹介

早く仕事を覚え、しっかりと
貢献出来るように頑張ります。
よろしくお願い致します。



鎌田 悠
(妹背牛支所貯金共済課共済係)

～～営業時間の変更のお知らせ～～

令和4年11月1日からの営業時間について、下記の通りお知らせ致します。

区 分		曜 日	営業時間	摘 要
事 務 所 秩父別営農販売事務所 (融資経済課窓口含む)		平日	8:45～17:00	土曜・日曜・祝日は休業致します。
生 産 資 材 店 舗 農 機 車 輛 店 舗		平日	9:00～16:30	土曜・日曜・祝日は休業致します。
貯 金 共 済 窓 口		平日	9:00～16:00	土曜・日曜・祝日は休業致します。
貯 金 A T M		平日	9:00～18:00	
		土曜	9:00～17:00	
		日曜	9:00～17:00	本所（秩父別）のみの営業となります。
		祝日	休 業	土曜・日曜と重複する場合も全店舗休業致します。
ス タ ン ド	妹 背 牛 沼 田	平日・土曜	8:00～18:00	
		祝日	8:30～17:00	祝日と日曜が重複した場合は休業致します。
		日曜	休 業	
	秩 父 別	平日・土日・祝日	7:30～19:00	
(株)まちづくりぬまた 物産サービスセンター		平日	8:30～17:30	
		土日・祝日	8:30～17:00	
ダ・マルシェ 沼田店		平日・土日・祝日	9:00～19:00	
(株)ホクレン商事 エコーブ秩父別店		平日・土日・祝日	10:00～19:00	※毎月1日・15日は9:00～19:00営業です。

PHOTO だより



10月31日、
第4回役員選任推薦会議を開催し、
付帯意見に対する回答を
させて頂きました

10月9日、
秩父別産新米普及マラソンが
開催されました



10月8日、
2022もせうし収穫感謝祭が
開催されました



10月21日、
北空知広域農業協同組合連合会より
ハロウィンを彩る大きなカボチャを寄贈頂き、
入り口等に飾らせて頂きました



9月5日、
災害時に備え
職員による
発電機の稼働訓練を
実施しました



9月14日、
沼田町にある企業が集まった合同企業説明会
「ぬまわーく in イオンモール旭川駅前」が開催され、
JA北いぶきとして参加しました